

# みんなの健康ラジオ

『胃がん内視鏡検診の現状と今後の動向』

(2026年7月23日放送)

横浜消化器内視鏡医会

(医)相和会みなとみらいメディカルスクエア

石川 廣記

# 最新の胃がん統計

全国がん登録罹患データより

罹患数 2023 年 104,864例（男性71,135例、女性33,729例、）

死亡数 2024 年 37,867人（男性24,720人、女性13,147人）

ともに悪性疾患の第4位

5 年相対生存率 2009～2011年 66.6%(男性67.5%,女性64.6%)

臨床進行度別 5 年相対生存率

限局型（早期癌） 96.7%

領域型（進行癌） 51.9%

遠隔転移（+）型 6.6%

# 胃がん内視鏡検診

- 対象年齢 50歳以上  
受診間隔 2年毎  
検査方法 経口または経鼻内視鏡

＊多目的コホート(JPHC)研究などの追跡調査により、胃内視鏡検査を受けた集団では、胃がんによる死亡リスクが**61%減少**、進行胃がんリスクが**22%減少**するといわれています。

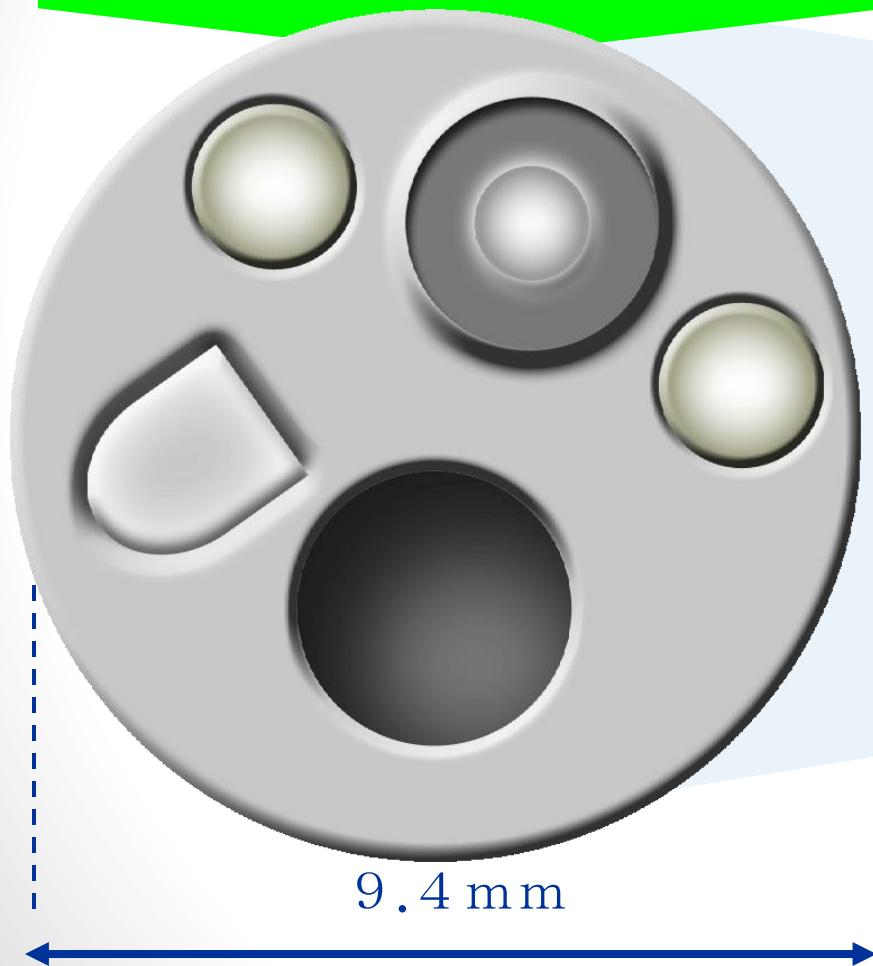
＊内視鏡検査では、前がん病変を含め早期胃がん発見が増加し、死亡抑制効果が胃部X線検査よりも高い可能性が報告され、胃部X線検査の割合は減少し、内視鏡検査が急激に増えています。

# なぜ経鼻内視鏡が増えている？

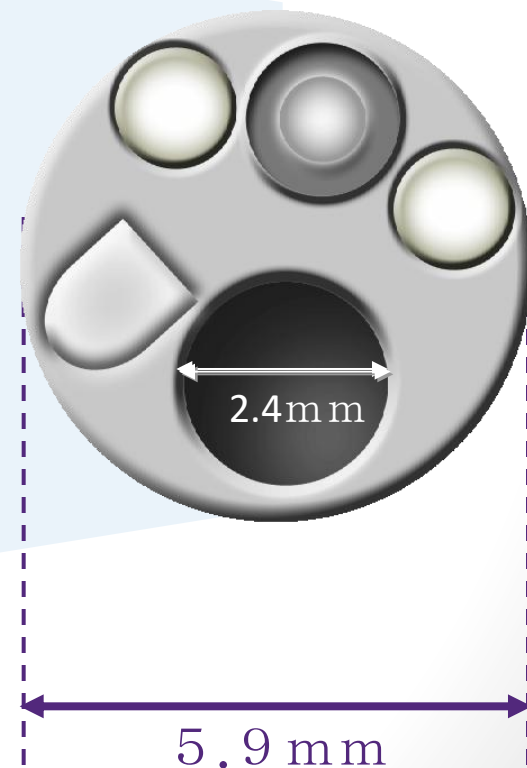
COVID-19が発生して、内視鏡診療の現状が変化した。

## 経鼻内視鏡特徴

経口内視鏡



経鼻内視鏡



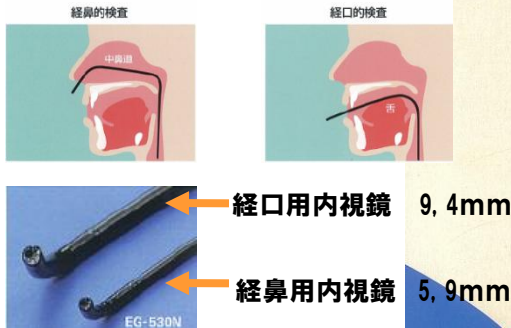
面積比

1 : 0.39

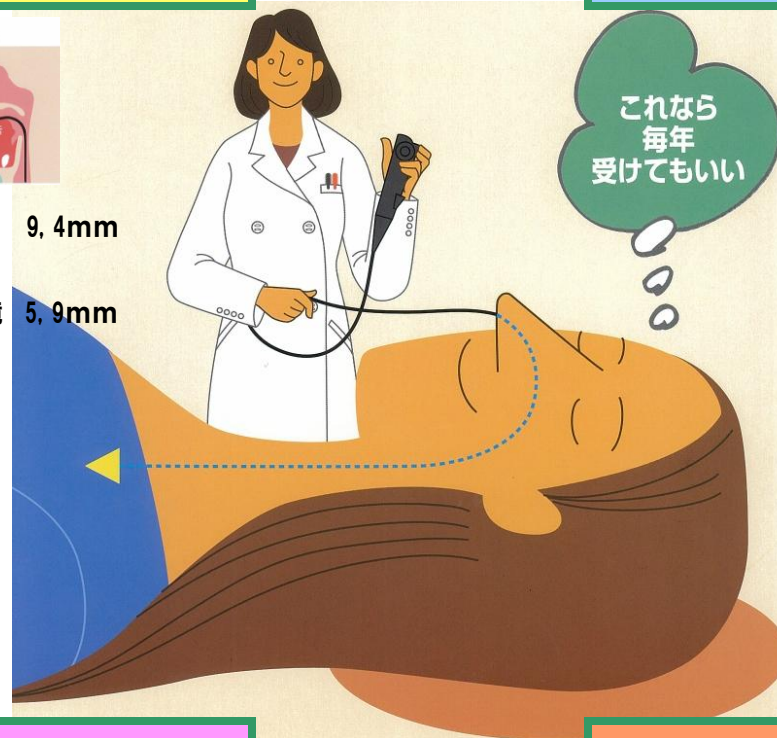
39%

# 経鼻内視鏡の特徴

嘔吐感がおき難く苦痛が少ない



麻酔事故のリスクが少ない



鎮静剤を使用しません。  
鎮痙剤の使用量も極めて少なく  
医療事故のリスクを  
抑えられます

検査中会話ができる

直ぐ日常生活に戻れる

鎮静剤を使用しませんので  
直ぐ日常生活に戻れます